

IAUD Newsletter vol.6 第 19 号 (2014 年 3 月上旬号) 目次

1. IAUD アワード受賞紹介⑤

未来世代部門金賞「ドクターUD 授業」積水ハウス㈱・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
事業戦略部門金賞「視覚障がい者の QOL 向上を目指した音声読み上げ商品の普及活動」
三菱電機㈱・パナソニック㈱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

2. 海外 UD 動向「Design that Makes a Difference」開催・・・・・・・・・・・・・・ 9

3. 2013 年度 IAUD 成果報告会&定例セミナー開催のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・ 9

4. 第 5 回 UD 検定 初級実施のお知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9



IAUD アワード 2013 受賞紹介⑤

未来世代部門金賞 「ドクターUD 授業～小学校での取り組み～」
積水ハウス㈱

事業戦略部門金賞 「視覚障がい者の QOL 向上を目指した音声読み上げ商品
の普及活動～競合企業による UD 理念に基づく垣根を越えた取り組み～」
三菱電機㈱・パナソニック㈱

「IAUD アワード 2013」受賞紹介の最後は、未来世代部門で金賞を受賞した「ドクターUD 授業～小学校での取り組み～」(積水ハウス㈱)と、事業戦略部門で金賞を受賞した「視覚障がい者の QOL (Quality of Life) 向上を目指した音声読み上げ商品の普及活動～競合企業による UD 理念に基づく垣根を越えた取り組み～」(三菱電機㈱/パナソニック㈱)です。

審査委員長のロジャー・コールマン氏(英国王立芸術大学院名誉教授)は「ドクターUD 授業」の取り組みについて、「UD 製品を評価する能力を養うこと、またインクルーシヴな社会を達成するための UD の重要な役割を理解することを目的としている。次世代への投資として本格的に展開してほしい」と講評しました。

また、「視覚障がい者の QOL 向上を目指した音声読み上げ商品の普及活動」については、「簡単には情報にアクセスできない人々に有益となるよう、ビジネスの障壁を超え共同で取り組んだことに深く感銘を受けた。この取り組みはインクルーシヴな考え方の模範であり、今後の IAUD にとって重要」と評価しました。

「ドクターUD 授業」の取り組みを積水ハウス㈱の中村孝之様に、「視覚障がい者の QOL 向上を目指した音声読み上げ商品の普及活動」は三菱電機㈱の大隅理代様にご紹介していただきます。

未来世代部門金賞「ドクターUD 授業～小学校での取り組み～」

積水ハウス㈱

子どもたちの「UD リテラシー」を養う

「ドクターUD 授業」は、小学生向けの UD 出張授業です。このプログラムは豊中市立上野小学校と連携し、小学三年生を主な対象として開発したものです。



本小学校では、総合学習の時間に車いす体験や点字の体験、帰国生徒の PTA による海外でのバリアフリーの事例紹介など、ノーマライゼーション社会を学ぶ授業を取り入れています。まだ UD についての知識や経験がない子どもたちを対象に、身近な考え方としての UD を体感で伝える授業内容となっています。

小学校低学年は、暮らしの中の様々なデザインの意味に興味を持ち始める大切な時期です。この時期の子どもたちに向けて、私たち大人が何を真剣に考え、どんな思いを込めてデザインを行っているかを、できるだけ具体的に伝え、実際に体験してもらうことが大切だと考えました。子どもたち自らが身近な暮らしの中で発見した UD に驚き、「なぜ、どこが UD なのか」を考え、その考えを他者に伝えることで、知識の習得だけではない新しい学びが始まります。

身近な UD の大切さを理解することで、将来に亘り消費者として UD を見る確かな目「UD リテラシー」を養います。また、自らが未来のインクルーシブな社会を築く役割へと成長することも期待できます。

このプログラムは、総合的な学習の時間の一環として 2011 年から実施しています。

見て触れて自分で確かめて考える

授業プログラムは「座学」と「実習」の連続 2 時限のパッケージで構成されています。上野小学校では、広い多目的室を利用して 2~3 クラスが集合して授業を受けます。座学は集合で行いますが、実習は 4~5 人で構成する班（グループ）単位の行動を義務付けます。これにより、グループでの話し合いや他者の行動の観察による気づきが生まれます。

子どもたちが日常、何気なく使っている学校の設備について、新鮮な目で体験評価すること、グループで何が UD かを話し合い、教え合い、助け合うことで、自分たちの経験となって身につけていくことを重視しています。このプログラムでは、正しい知識よりも経験を長期記憶に残すことが大切で、今日の体験が将来、様々な活動の場面で UD 視点を思い出す動機づけになればいいと考えています。

1 時間目：座学

教室でのパワーポイントによるビジュアルを交えた座学を行います。

積水ハウスの研究所員が実際の UD アイテムを提示しつつ、クイズなどを交えながら UD が身近なものであることがわかるようにすることを大切にしています。

まず、よく観察することがこの授業のポイントであることを説明します。次に、これまでの学校の授業で学んだバリアフリーの内容を予め確認したことも踏まえて、UD とはどんなデザインなのかを解説します。ロナルド・メイス氏による 7 原則を説明しますが、この授業では、原則を「安全」であること「使いやすい」ことの 2 つに絞って進めていきます。

身近な日用品や建材などの実物を交えて比較観察しながらデザインのポイントを知り、2 時間目に自分たちが学校の中の UD を発見する手がかりを学びます。



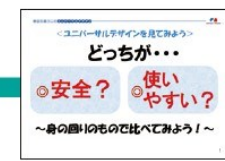
1.UDは身近な暮らしの中にあり、子どもも実感できる
 が授業の基本コンセプト



2.よく観察することからUDが始まる
 「錯覚や先入観」の事例から、よく観察することの大切さに気づいてもらいたい



3.「より安全に、より使いやすい」を見つける
 誰にとっても「安全」で「使いやすい」デザイン
 =UDを選ぶ力を身につけてほしい



5.UDを知ることでもみんなに優しくなれる
 みんながUDを選んだり、デザインできるようになることで、幅広い目で見ることができるようになり、結果、ひとに優しくなることができ、社会もよくなる



4.知ってるものや実物を見て発見する
 どちらが、なぜ、「安全」で「使いやすい」か? クイズ形式によるUDの事例や実物の紹介を通じて、見て、考え、判断する力を養ってもらおう



2 時間目：実習

2 時間目は教室外へ出て、班別に学校内にある UD を自分で調べて比較観察するグループ実習です。

校内の UD 事例は、予め積水ハウスの研究所員が学校内で担当の先生方と一緒に探し出し、当日の行動プログラムにする準備をしておきます。上野小学校では、新旧の校舎が混在しているため、同じ機能でデザインの異なるものがあるという特徴を活かして、比較体験が出来るいくつかの事例が見つかりました。



これを一対の事例ごとに写真を入れたワークシートにしておきます。一グループ一事例で課題を与え、グループごとに観察し体験し、その結果をみんなで話し合い、その結果レポートを各自ワークシートに記入させるという方式で行っています。グループ行動で戻ってきたら「ドクターUD」に各自のレポートをまとめて提出します。

「ドクターUD」は、グループに対して各自のレポートから大切な部分を復唱した上で、個別に評価し採点します。合格すれば「ドクターUD 授業修了証書」を授与します。



子どもの生きる力を育む

子どもは生まれた時から、自ら成長しようとする力を身につけています。

我々は、自らの成長力を育むことで発達を支えることが出来るという考えに立ち、「子どもの生きる力を育む住まいづくり」をコンセプトに、子どもと一緒に暮らすための住環境の研究開発を行ってきました。

子どもが誕生から成人するまでの住まいとのかかわりの中で、「感性」「身体」「知性」「社会性」の4つの発達が大切であるという考え方を構築し、その発達に役立つたくさんの子どもの居どころのある住環境を創出するというものです。この4つの力を身につけることで、生涯を通じた生きる力を身につけます。

本授業を通して、この4つの発達にどのように効果があったのかについて、後日子どもたちに感想文を書かせ、その記述を分類し分析しました。

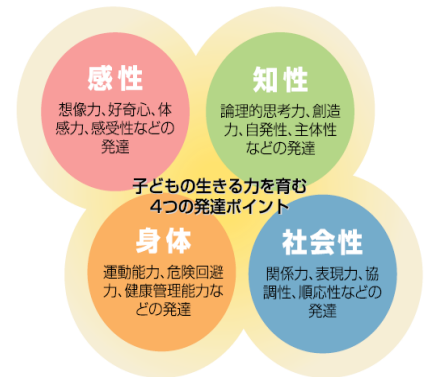
「知性」は思考力や創造力を身につけること。「けがをせずに暮らす工夫がたくさんある」「手の不自由な人でも使える」などの意見や、多くの比較分析への共感がありました。

「感性」は五感を育てること。触覚に対して、「取っ手がでこぼこだったら使いやすい」という感想や、階段や浴室用のギザギザとすべすべの手すりの違いに対する発見などがありました。

「社会性」は社会の中で生きていく自立の準備。「住む人にやさしい家をつくること」「体の不自由な人たちのことも含めて家をつくるのは大変だ」など、ノーマライゼーション社会への理解が得られました。

「身体」は体格、体力の基礎づくり。実際に使ってみてわかった、こっちの方が力が入りやすかったという体験談が中心でした。

「UD リテラシー」とは UD を選択する価値基準であったり、デザインを創出する思考力であったりすると考えていました。この点では早速効果が見られましたが、社会に対する視野の拡大や、何でも自分で体験することの重要性への示唆も見られ、子どもたちにとって、デザインのもたらす価値の社会との関係を実践的に学ぶ授業になっているものと考えます。(了)



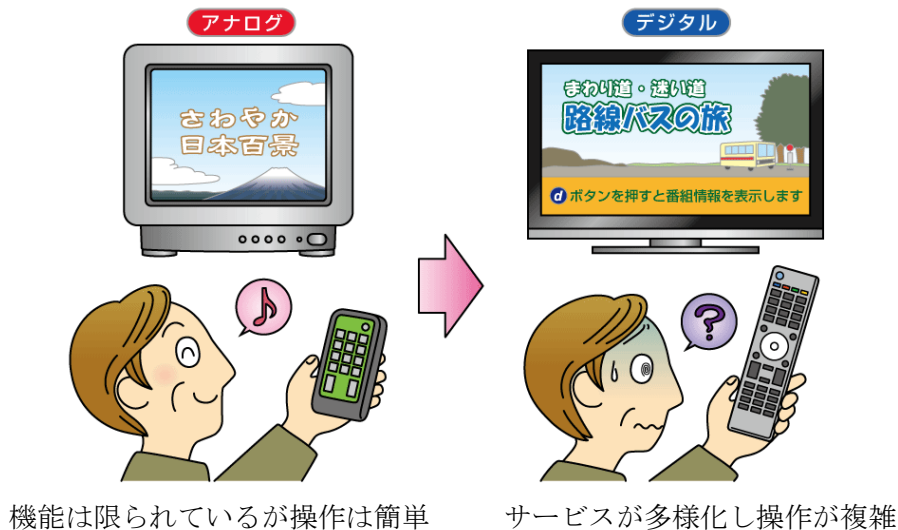
事業戦略部門金賞「視覚障がい者の QOL 向上を目指した音声読み上げ商品の普及活動～競合企業による UD 理念に基づく垣根を越えた取り組み～」

三菱電機(株)・パナソニック(株)

操作が複雑になったテレビ操作をサポート

三菱電機(株)とパナソニック(株)は、それぞれの UD の考えに基づき、音声読み上げ機能を搭載する商品を開発・販売しています。この音声読み上げ機能は、高齢者や機器操作の苦手な方の操作をサポートする機能です。

この機能を搭載するテレビが誕生した背景は、テレビの放送がアナログからデジタルに移行し画質や音質が向上し、データ放送などのサービスも始まりました。その一方で、デジタル放送ではリモコン操作などアナログ放送とは比較にならないほど複雑になりました。そのような中、両社は視覚障がい者の方々がテレビから多くの情報を得られていることを知り、操作が複雑になったテレビの操作をサポートするため、画面に表示される電子番組表や操作メニュー等を音声で読み上げるテレビの開発をすすめて参りました。



両社すべてのテレビに音声読み上げ機能搭載

現在、この音声読み上げ機能は両社のすべてのテレビに標準で搭載されています。さらに、テレビに続き、ほかの家電商品でも音声読み上げ機能を搭載した商品の開発・販売を行っています。

MITSUBISHI



音声読み上げ機能対応
ブルーレイ&ハードディスク搭載液晶テレビ

MITSUBISHI



音声ナビ機能搭載 IH ジャー炊飯器

Panasonic



音声読み上げ機能搭載液晶テレビ

Panasonic



音声読み上げ機能搭載ブルーレイレコーダー

ほかの家電商品でも音声読み上げ機能搭載商品を推進

音声読み上げ機能 3つの普及活動

音声読み上げ機能の普及推進活動として、主に3つの活動を推進しています

- ① 視覚障がい者向け体験会の実施（期間：2011/2/1～2013/3/31）
実施回数：113回
参加者数：5,672名
- ② 音声読み上げ機能搭載テレビのアピールを目的に機能紹介冊子を作成
18万部を全国の家電量販店に配布。各店頭において啓蒙活動を展開
- ③ 音声読み上げポータルサイトの開設・運営によるユーザーサポート
音声読み上げポータルサイト URL <http://www.yomiage.net/>
サイト開設：2012年4月
アクセス数：12,000回（期間 2012/4/1～2013/3/31）

視覚障がい者向け体験会の実施

視覚障がい者の方々向けの展示会で音声読み上げ機能搭載テレビをご紹介させていただくなかで、視覚障がい者の方々にとって、音声読み上げ機能搭載商品は大変便利です。が詳しい情報を知っていただく機会が少ないことが判明しました。

両社で議論した結果、音声読み上げ機能搭載テレビの体験会を実施させていただこうということになりました。体験会では視覚障がい者の方々々にテレビに触れていただき、音声読み上げ機能により使いやすくなっていることをご体験いただきました。体験者の

方からは、「たくさんの情報をテレビから得られるようになって、毎日の生活が楽しくなっています」といった多くのお喜びの声をいただきました。



実際にテレビの操作を体験していただき、音声読み上げ機能の便利さをご実感いただきました。

共同で音声読み上げ機能紹介冊子を作成

ご自宅近くの量販店で音声読み上げ機能搭載テレビをご紹介いただけるように、共同で冊子を作成しました。テレビを販売する競合メーカーがこのような冊子を配布した前例はなく、店員様やお客様から感嘆の声をいただきました。

これにより、体験会の会場が遠い等、さまざまな理由により体験会におこしただけなかった視覚障がい者の方々にも、音声読み上げ機能搭載テレビをご体験いただける機会が増えたかと思えます。

**ご存じですか？
番組名が声でわかる
音声読み上げテレビ！**

お楽しみになりたい番組を、ご自分で探したり、録画予約が、もっとカンタンに、手軽にできる！
音声でチャンネルや番組名を読み上げてくれる、とっても便利なテレビが登場しました！

○チャンネル △□テレビ
お昼のニュースです。
12時0分から13時

音声読み上げテレビ は、三菱電機とパナソニック から発売されています。

番組名が
音でわかる！

**三菱液晶テレビ REAL
の読み上げ機能**

- ① 初期設定を読み上げ
音声読み上げの機能をオンにするには、リモコンの「設定」ボタンを押してメニューを開き、「音声読み上げ」を選択します。
- ② 番組名を読み上げ
チャンネル（チャンネル）を指定すると、音声読み上げ機能で番組名を読み上げます。
- ③ 操作メニューを読み上げ
リモコンの「メニュー」ボタンを押すと、音声読み上げ機能でメニュー項目を読み上げます。
- ④ 音声ガイドを読み上げ
音声ガイド機能も読み上げますので、音声ガイドもかんたんに利用できます。（機能はテレビにより異なります）

※対応機種
三菱電機：VTZ-RT2000、VTZ-RT2000-RD、VTZ-RT2000-RD-CE、VTZ-RT2000-RD-CE-CE、VTZ-RT2000-RD-CE-CE-CE

**ビエラは、音声読み上げの
オン/オフがかんたんです。**

手順1
リモコンのメニューボタンを押すことで表示します。

手順2
「音声ガイドの設定」画面が表示されますので、「機能」を「オン」に、その後、音量と速度をお好みに合わせてください。

他にもこんなメリットが！
音声ガイドだけでなく、チャンネルを覚えたりにも、読み上げます。音声ガイドや録画予約の音声でも使えます。

※対応機種
パナソニック：VTZ-RT2000、VTZ-RT2000-RD、VTZ-RT2000-RD-CE、VTZ-RT2000-RD-CE-CE、VTZ-RT2000-RD-CE-CE-CE

詳しくは「視覚障害者向け家電情報」ページ <http://www.sccb.jp/chida/j/1st.html> でご確認ください。

音声読み上げポータルサイト開設・運営によるユーザーサポート

音声読み上げ機能搭載テレビを購入いただいたお客様から、テレビを使いこなせないとお声をいただきました。そこでテレビの操作方法を掲載した『音声読み上げポータルサイト』を開設、またこのサイトの紹介カードを作成し体験会や展示会などで来場者や関係機関に配布させていただきました。



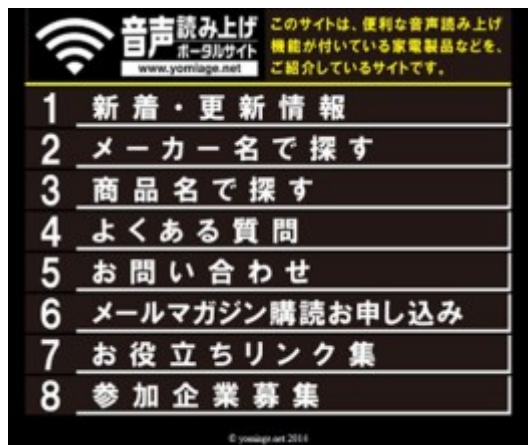
接続機器を自動で判別(パソコン/携帯電話)
閲覧者の手間を削減

『音声読み上げポータルサイト』では、視覚障がい者の方々に使っていただきやすい工夫をしています。

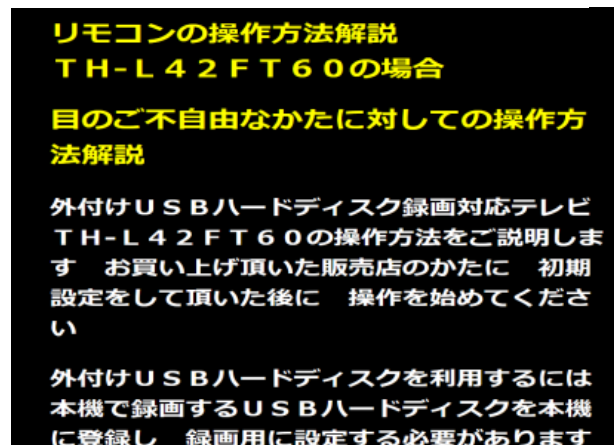
音声読み上げ対応携帯電話やパソコンのスクリーンリーダーソフトによる音声読み上げに対応し、背景は黒、文字は白および黄色の配色を採用、弱視者も意識した大きな文字の採用など、サイトへのアクセシビリティを実現しました。

さらに視覚障がい者の方々が音声読み上げ機能搭載商品の情報を容易に入手できるように、音声読み上げ機能搭載商品を扱う企業のポータルサイトへの参加を呼びかけています。

音声読み上げポータルサイト トップページ



操作方法解説ページ



競合企業の協力により大きな成果

競合する両社が協力し普及活動を行うことで、単独で活動するよりはるかに大きな成果が得られました。

今後も一人でも多くの視覚障がい者の方々にとって、毎日の生活が充実できるように活動を進めて参ります。

更に我々はUDの理念に基づき、視覚障がい者の方々の使い易さだけでなく、高齢な方、機器操作が苦手な方のサポートもできます様にこの活動の輪を拡げてまいりたいと思っております。(了)

※IAUD アワード 2013 の各賞のご紹介は以下のサイトをご覧ください↓

<http://www.iaud.net/dayori-f/archives/1311/29-120000.php>

※今年も「IAUD アワード 2014」を開催します。詳細は決まり次第 Web ページに掲載します。

海外の UD 動向 : 「Design that Makes a Difference」開催

ノルウェーとイギリスのデザインを紹介する展示会「Design that Makes a Difference」(主催: ノルウェーデザイン協議会/英国 王立芸術大学院)が1月24日(金)~2月8日(土)にノルウェーデザイン建築センター「DogA」(ノルウェー・オスロ)で開催されました。その様子が「地球の歩き方」サイトに掲載されましたのでご紹介します。↓

http://tokuhain.arukikata.co.jp/oslo/2014/03/design_that_makes_a_difference.html

2020年東京オリンピック・パラリンピックをテーマに講演 「2013年度 IAUD 成果報告会及び第4回定例セミナー」開催のお知らせ

2013年度研究部会・委員会活動の締めくくりとして「2013年度 IAUD 成果報告会」と省庁関係者に UD に関する政策等についてお話しいただく「第4回定例セミナー」を3月17日(月)13時半より NEC 本社(東京都港区)で開催いたします。

当日は IAUD 新総裁で故寛仁親王殿下の第二女子であります瑤子女王殿下にご臨席いただくほか、定例セミナーでは平田竹男氏(内閣官房参与/2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室室長)をお迎えして、講演「2020年東京オリパラに向けて」を実施します。当日のプログラムやお申込み方法等の詳細はこちらをご覧ください。↓



講演者の平田氏

<http://www.iaud.net/event/archives/1402/14-000000.php>



UD 検定™

第5回 UD 検定 初級 講習会&検定試験開催

オリンピック、パラリンピックのヴォランティアに役立つ知識



IAUD は「第5回 UD 検定・初級 講習会&検定試験」を3月17日(月)9時より、NEC 本社で実施します。(成果報告会と同日開催)

今回もオリンピック・パラリンピックのヴォランティアの対応の際にも役立つ UD の基本知識を学習する講習会(2時間)と、UD 検定初級試験(1時間・50問)のセット形式です。

←第4回 UD 検定実施の様子(横浜・みなとみらい)

受験ご希望の方及び検定の詳細はこちらをご覧ください。↓

<http://www.iaud.net/event/archives/1402/07-150000.php>

次号は2014年3月下旬発行予定

特集: 「2013年度 IAUD 成果報告会&第4回定例セミナー」開催速報

無断転載禁止

IAUD 情報交流センター (IAUD サロン) :

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階
電話 : 03-5541-5846 FAX : 03-5541-5847 e-mail : salon@iaud.net